

演武大会

毎年11月に「合気道神武錬成塾演武大会」を開催しております。

この演武大会は、合気道神武錬成塾の本部機能としての専門道場「利府道場」が出来た平成14年に各地の全教室の塾生に声掛けをして開催を始めたものです。

11月は、毎年泉区体育協会が主催する泉区所属の武道6団体の「泉区民武道大会」が開催されていますが、その大会に合わせての開催です。泉の武道館は神武錬成塾の教室の中では一番大きく広いところですし、塾長が最初に合気道を教え始めた所でもあります。そのようなわけで全体の演武大会を泉総合運動場の中の武道館を使わせていただいで全体の演武大会であります。

ここ数年の演武大会の参加者は、250名前後でしたが2011年の大震災により塾生が激減し2012年の参加者は170名となりました。

各教室の子供の部・一般部の演武を始め、『各教室の指導者演武』と『道場長の模範演武』そして『塾長による総合演武』を見る事ができます。最後の塾長の総合演武では基本技から応用技、武器技、多人数掛けなど普段あまり見る事のできない塾長の素早く華麗で正確に繰り出される多様な技は圧巻です。塾長演武のあまりのすごさに興奮した子供塾生が「アンコール、アンコール」と声を上げた年もありました。そのアンコールに応じて塾長も再び演武をし喜ばれました。一般の塾生からは『感動した、やる気になった、塾長のようにになりたい等』と多くの称賛の声があがり日々の稽古の励みになっているようです。

また、普段の稽古は出来るだけ保護者の方には見ないようにしております。普段の稽古で親が見ていると、特に小さいうちは失敗してもうまく行っても必ずと言っていいほど親の方をちらりと見ます。それだけ親を意識しているのですが、普段は親の目を気にしないでのびのびと稽古してほしいからです。

ですから保護者の方々は普段あまり見る機会のない子供達の稽古姿を演武を通して見てあげてください。いわば学校における参観日のようなものです。子供の成長は早く、去年は頼りなかった子供が一年後の演武大会では堂々と元気に演武をしているという事も多くあります。子供の成長の速さにいつも驚かされます。

一年に一度の大きな節目の演武大会です。多くの塾生の参加そして保護者の方々の見学をお待ちしています。